いいやまの旬

このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第4回 盆踊りで唄い継がれる無形民俗文化財 からす踊り

「あ～ 今宵の踊り からす踊りを 踊らねか」

戸狩温泉暁の湯駐車場で毎年お盆に、飯山市からす踊り保存会、戸狩観光協会、太田公民館などで構成する実行委員会主催で開催される「信越からす踊り大会」。

新幹線開業を祝い、からす踊りを披露

「からす踊り」は400年前に戸隠山の修験道の行者たちによって北信濃一帯に伝えられたと言われ、平成16年には市の無形民俗文化財に指定されました。新幹線飯山駅開業の際には駅前特設ステージでも披露されました。

奥深くとんちの利いた詩歌を音頭とりがリードをとって唄い、一同は踏む、蹴る、手を叩くなど9つの動作を繰り返しながら踊り、返し唄を唄います。

踊りはテンポの速い軽快で簡単な動きで、初めての人でも輪に入り、見よう見まねで踊れるのが魅力です。また、繰り返しの中に奥深さを感じ、夜を徹して踊っても不思議と疲れを感じないと言われます。

かつて市内のどの地区でも盆や祭礼には神社や寺の広場などで広がっていた踊りの輪。お盆や夏休みの締めくくりに、どこか懐かしさ漂う会場を訪れ、踊りの輪に加わってみてはいかがでしょうか。

信越からす踊り大会

■日時　8月16日（日）　19:00開場、19:30～21:00
■会場　太田地区　戸狩温泉暁の湯　駐車場
※8月10日（月）太田地区活性化センター2階で20:00から、からす踊りの講習会を行います。お気軽にお越しください。

講習会の様子

お問い合わせは　信越からす踊り実行委員会事務局（太田地区活性化センター内）☎65-4579まで

わが家の人気者

川口 眞（しん）ちゃん
柳原地区
3歳7か月
No.352

何でもいやがらずに食べ、中でもアイスと果物は大好きです。歌を歌ったり、口笛も吹けるようになり楽しく遊んでいます。

映画を見るのが好きでお気に入りのジャックスパロウのものまねを良くします。

お兄ちゃんが大好きで、いつも仲良しです。思いやりがあり、お母さんに絵本を読んでくれたり、お料理を手伝ってくれる家族の自慢の眞ちゃんです。

（雅也さん、沙織さんの長女）

兄の蓮（れん）くん

このコーナーに出てみませんか?
「わが家の人気者」に登場していただける2～3歳ぐらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を!（☎62 3111内線333）

美術館情報

コレクション展示【特集陳列】

「正面はどっち!?」＆「後ろ向きの人たち」

箕口博『虚』1969年

彫刻家・箕口博と日本画家・長谷川青澄の作品を特集します。

「正面はどっち!?」では、非常に抽象性の強い作品を多く残した箕口博の作品を紹介。あまりに強い抽象性ため見る人を戸惑わせることも…作者はどの角度から見ることを想定してつくったのか、一緒に考えながら改めてじっくり見てみましょう。また「後ろ向きの人たち」では、長谷川青澄の作品を特集します。作品の大半は人物を題材にしていますが、後ろを向いた人物が多く描かれていることに気づきます。その「後ろ向きの人」に注目して作品を見てみましょう。

【開　館】9:00～17:00（入館は16:30まで）
【休館日】毎週月曜日
【入館料】大人300円、市内の小中学生は無料
【問合先】飯山市美術館　☎62-1501

編集後記

春は土日祝日のイベントが多く、取材に出たり、また地域の活動などもあり忙しかったのですが、わずかな暇を見つけながら家族と自家用の野菜を作付しておきました。その野菜がだんだんと収穫できるようになってきたことが最近の私の喜びです。▼採れたてのみずみずしいキュウリは都会では食べられない贅沢な一品ですが、この頃、食べても食べても・・・という時期になってきました。▼これからできるスイカ、メロン、トウモロコシなどは野生鳥獣との知恵比べです。せっかく育てた作物が全て彼らのエサにならないように策を講じたいと思っています。▼「手間を考えれば買った方が安い」というのは本当かもしれませんが、手間をかけた分だけ高級な自家製野菜をおいしくいただきたいと思います。小野沢